



## MMWIN<sup>®</sup>みんなのみやぎネット<sup>®</sup>

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために  
Vol. 72

### はじめてのWeb開催（透析連携のためのMMWIN活用講座）

2020年9月17日、はじめてWebでの「透析連携のためのMMWIN活用講座」を開催しました。遠方からの参加が可能となった今回は、初参加の8施設・23名様を含む21施設・51名様の方々にご参加いただきました。

講演1では、岩切病院・尾形先生より、『MMWINのメリットは、1.災害時でも情報活用できる、2.紙媒体より多くの情報でキュア・ケアできる、3.地域連携を強化し患者さんへの対応を正確にスムーズに行えるという点だが、これらを最大限に活用するためには、全ての患者さん・全ての施設が加入できていることが理想』とお話がありました。

講演2では、大崎市民病院・佐々木先生より、『CKDと維持透析の連携においては、患者さんの施設間の移動を伴うので、情報を共有する必要がある。大崎市民病院では、施設間の検査共有や透析サマリーをアップロードする仕組みが整い、閲覧が可能となった』とお話がありました。

また、災害時連携事項の標準化のために、MMWINの個別化公開リストの活用の検討を始めたとのことでした。

ディスカッションでは、『透析患者さん全員の加入を勧めているが、加入を勧める職員の意識が非常に重要』、『CKDでは、関連検査をMMWINで見れるのが有用である』とのご意見をいただきました。また、クリニックの先生より、『基幹病院の情報をよく見ており、特に透析患者さんはデータが多いので、参照システムの表示速度を上げてほしい』とのご意見がありました。

透析患者さんにおいては、MMWINは災害時の緊急対応のみならず、日々の施設間連携においても有効活用できることから、会員の皆様はもとより、関係各位のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### ■当日のプログラム

- 司会：宮崎 真理子 先生  
（東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科科長）
- ・開会のご挨拶：中山 雅晴 先生  
（東北大学大学院医学系研究科医学情報学分野教授）
  - ・講演1「地域密着透析医療におけるMMWINの活用」  
講師：尾形 佳昭 先生  
（岩切病院血液浄化技術部兼診療推進部部长）
  - ・講演2「東北圏域の地域CKD連携について」  
講師：佐々木浩久 先生  
（大崎市民病院地域医療連携室係長）
  - ・ディスカッション



岩切病院  
尾形 佳昭 先生



大崎市民病院  
佐々木 浩久 先生

### MMWINホームページのご案内

MMWINホームページでは、最新の参加施設や診療データバックアップ数、加入患者数をご確認いただけます。

またシステムのご紹介や各種お知らせ、過去の広報資料等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。



お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】[office@mmwin.or.jp](mailto:office@mmwin.or.jp)

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。